レクイエム・プロジェクトは 2016 年 6 月、活動 9 年目に入ります！

被災地と被災地、地域と地域、
そして人と人とを、歌でつなぐ合唱プロジェクト

レクイエム・プロジェクト REQUIEM　PROJECT

心を寄せ合うとき、失われた“いのち”への思いは、
重なり合い、歌となり、未来へつながる！

レクイエム・プロジェクト実行委員会

http://requiem-project

失われた“いのち”、傷ついた心、そして破壊されたふるさとや自然
音楽に何が出来るのか？　音楽に果たせる役割があるのか？
阪神・淡路大震災をきっかけに、被災地・神戸と深く関わり続けてきた
作曲家・上田益が主宰し、その思いをひとつの形にしたものがレクイエム・プロジェクトです。

それは、被災地と被災地、地域と地域、そして人と人とが
被災地の詩人と共に上田益が書下ろす追悼と希望の合唱作品などを
共に歌うことでつながっていく、市民参加型の合唱プロジェクト。

2008 年に神戸神戸で始まり、これまでに東京、沖縄、兵庫県佐用町、広島、長崎、
そして東日本大震災被災地では仙台、南相馬、北いわて、気仙沼でプロジェクトが行われ、
その殆どで継続した活動となっています。
関連したコンサートは、札幌、福島、プラハ、ウィーン・シュテファン大聖堂など
内外でも行われています。

東日本大震災から 5 年となる 2016 年には、バチカン教皇庁の特別な許可を得て
バチカン・サンピエトロ大聖堂ミサでの演奏をはじめ、システィーナ礼拝堂での奉納演奏や
アッシジ、フィレンツェの歴史的教会において各地のプロジェクト合唱団参加者有志により
復興祈念と平和への願いを込め、バチカン・イタリア特別演奏会を開催します。

ver.2016.3.07 版

■助成いただいた財団など

●公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀機構　●ひょうご安全の日推進県民会議　●（公財）宮城県文化振興財団　●仙台市市民文化事業団　●（財）朝日新聞文化財団　●（公財）関西・大阪 21 世紀協会　●（財）三菱 UFJ 信託地域文化財団　●（公財）大阪コミュニティ財団　●（財）アサヒビール芸術文化財団　●JR 西日本あんしん社会財団　●私的録音補償金管理協会　●（公財）エネルギア文化・スポーツ財団

■ご後援いただいた自治体、新聞社、放送局など

●東京都　●兵庫県　●沖縄県　●長崎県　●広島県　●宮城県　●福島県　●神戸市　●長崎市　●広島市　●仙台市　●南相馬市　●札幌市　●佐用町　●兵庫県教育委員会　●長崎県教育委員会　●広島県教育委員会　●神戸市教育委員会　●那覇市教育委員会　●浦添市教育委員会　●長崎市教育委員会　●広島市教育委員会　●南相馬市教育委員会　●佐用町教育委員会　●久慈市教育委員会　●洋野町教育委員会　●野田村教育委員会　●普代村教育委員会　●葛巻町教育委員会　●札幌市教育委員会　●朝日新聞　●読売新聞　●神戸新聞　●沖縄タイムス　●琉球新報　●河北新報社　●中国新聞社　●福島民報社　●福島民友新聞社　●岩手日報社　●デーリー東北新聞社　●北海道新聞　●NHK 神戸放送局　●NHK 沖縄放送局　●NHK 長崎放送局　●NHK 仙台放送局　●NHK 福島放送局　●NHK 盛岡放送局　●毎日放送　●朝日放送　●関西テレビ　●読売テレビ　●琉球放送　●琉球朝日放送　●沖縄テレビ　●長崎放送　●テレビ長崎　●長崎文化放送　●長崎国際テレビ　●中国放送　●広島テレビ　●広島ホームテレビ●テレビ新広島　●東北放送　●東日本放送　●ミヤギテレビ　●仙台放送　●福島中央テレビ　●福島放送　●テレビユー福島　●福島テレビ　●サンテレビジョン　●長崎ケーブルメディア　●ニッポン放送　●ラジオ関西●ラジオ沖縄　●エフエム沖縄　●エフエム長崎　●広島エフエム　●（財）神戸新聞文化財団　●（財）対馬丸記念会　●中華人民共和国大阪総領事館　●駐神戸大韓民国総領事館　●タイ王国大阪総領事館　●駐日トルコ共和国大使館　●在大阪イタリア総領事館　●在大阪インドネシア総領事館　●日本中国文化交流協会　●在チェコ日本国大使館　●三陸鉄道（株）

■ご協賛いただいた企業

●（株）ケー・エフ・シー　●全日本空輸（株）　●三菱東京 UFJ 銀行　●（株）日立製作所　●（財）沖縄美ら島財団　●さんちか　●（株）伊丹産業　●伊丹シティホテル　●（株）関西スーパーマーケット　●日本エスリード（株）　●日東物産　ほか

■活動を記事掲載していただいた新聞社、出版社

●朝日新聞　●読売新聞　●毎日新聞　●産経新聞　●神戸新聞　●長崎新聞　●河北新報　●沖縄タイムス　●琉球新報　●福島民報社　●福島民友新聞　●岩手日報　●デーリー東北　●音楽之友社

■活動を特集などで放送していただいたテレビ局、ラジオ局

●NHK 神戸放送局　●NHK 沖縄放送局　●ミヤギテレビ　●毎日放送　●朝日放送　●長崎放送　●サンテレビジョン　●ラジオ関西　●NBC ラジオ　●CAT-V 仙台ケーブルテレビ　●長崎ケーブルメディア

ウィーンの大聖堂に響きわたった被災地からの歌声！

世界遺産であるウィーン歴史地区にあり、約 850 年の歴史を持つ世界的に著名なカトリックの教会、聖シュテファン大聖堂。

その大聖堂主催によるコンサートが 10 月 11 日（土）に同大聖堂内で行われ、震災から今年で 3 年を迎えた東日本大震災被災地（仙台と周辺の沿岸部地域ならびに陸前高田、南相馬）などから 145 人の合唱団が参加。

このほか日本から 8 人の声楽ソリスト、そして被災地のプロ・オーケストラである仙台フィルから弦楽器奏者 4 人、および指揮者含め合計 158 人がウィーンを訪れ、日本から留学している声楽家 5 名と現地プロ・オーケストラ 32 名の総勢 195 人が、上田益：作曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」（全 10 曲）など、合計 14 曲を演奏。満員となる約 800 名の聴衆に、音楽を通して日本の被災地の思い、自然災害や戦災で亡くなった世界中の多くの方々への追悼と、平和への思いを伝えました。

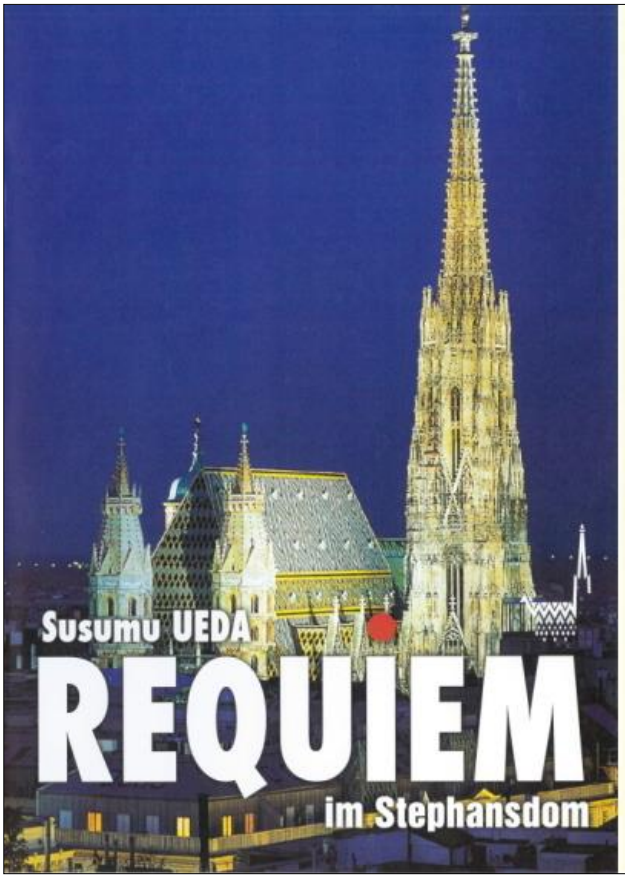
日本人作曲のレクイエムが大聖堂主催のコンサートで演奏されるのは約 850 年の大聖堂史上初めて。コンサート終了後は、10 分以上スタンディング・オベーションが続き、教会でのレクイエム演奏としては異例の反響となりました。

日本の各被災地からの思いが大聖堂内に響きわたり、国や言葉の違いを越えて聖堂内のすべての人々を包み込ました。

このコンサートは、2008 年に神戸で始まり、自然災害や戦災の被災地である国内 9 箇所で行われている作曲家・上田益が主宰するレクイエム・プロジェクトの一環として行われ、その各地のプロジェクト合唱団員有志が参加したもの。

＜参加合唱団員内訳＞

仙台（市内および津波被害が甚大だった市内若林区のほか、名取、塩竈、多賀城、亘理からも参加） 37 人、陸前高田 8 人、南相馬 12 人、神戸・大阪・京都 42 名、東京 15 人、広島 16 人、長崎 15 人



Domkonzert
Samstag, 11. Oktober 2014, 20.30 Uhr
im Stephansdom

Susumu Ueda

REQUIEM - Never forget the day and you

W. A. Mozart, Veni Sancte Spiritus, KV 47
W. A. Mozart, Sancta Maria, mater Dei, KV 273
W. A. Mozart, Misericordias Domini, KV 222
W. A. Mozart, Ave verum corpus, KV 618

Requiem Projektchor JAPAN
Wiener Domorchester

Yoshie HIDA, *Sopran*
Kiyoko MOTOMIYA, *Sopran*
Ayumi IKEHATA, *Alt*
Kaori KITAZUME, *Alt*
Yuichi OKAMOTO, *Tenor*
Toshikazu SAKAGUCHI, *Tenor*
Yoshiya HIDA, *Bass*
Yohei KOTO, *Bass*

Susumu UEDA, *Dirigent*

長崎新聞シュテファン記事

2014年(平成26年)10月29日 水曜日 ローカル (18)

大聖堂に響く鎮魂歌

オーストリア・ウィーン

戦争や自然災害で亡くなった人々への鎮魂の思いと平和への願いをオーケストラの演奏と合唱に込める「レクイエム・プロジェクト」の公演が11日、オーストリアの首都ウィーンの聖シュテファン大聖堂であった。長崎からの15人を含む145人の日本人合唱団が壮大なハーモニーを大聖堂に響かせた。

平和を願い歌声を響かせたレクイエム・プロジェクトの公演
―11日、ウィーンの聖シュテファン大聖堂（上田さん撮影）

戦争、災害 哀悼込め 長崎の15人も合唱

大聖堂は約850年の歴史を持ち、モーツァルトゆかりの教会として世界的に知られている。「レクイエム―」を聞いた大聖堂関係者からの誘いを受け、公演することになった。上田さんによると、日本人作曲のレクイエムが大聖堂で演奏されるのは初めて。

日本からは長崎、広島、宮城、福島などから合唱団員が現地に渡り、「レクイエム―」を披露。曲が終わると、約800人の聴衆が総立ちになり、10分以上拍手が鳴りやまなかったという。

合唱団の一人で、長崎市大橋町の被爆2世、土肥由紀子さん(61)は「歌っているときは若くして亡くなった被爆2世の友人の顔が浮かび、涙があふれた。気持ちは聴衆に届いたはず」と話した。

プロジェクトは、阪神大震災で犠牲者の鎮魂と復興を願う光のイベント「神戸ルミナリエ」の演出用音楽を担当する作曲家、上田益さんが中心となり、2008年に開始。10年に上田さん作曲の組曲「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」が完成し、被爆地や東日本大震災の被災地などで地元市民の合唱で披露している。長崎では昨年と今年、公演が開かれた。

「シーボルトハウス」スピールメイヤー館長

友好関係の継続 確認

ロシアは中学の
で、ツル
集（二
つけた。
恋物語が
心に響い
京城
れ。第2
日本に引
長崎西高
し舞台芸
そのころ
クワ芸術
て、ロシ

長崎市と
携をしてい
イチン市の

音楽の友誌 2014 年 12 月号

シュテファン寺院で行われた上田益「レクイエム〈あなたを忘れない〉」10月11日・ウィーン

シュテファン寺院に響く日本からの声

上田益「レクイエム〈あなたを忘れない〉」

10月11日シュテファン寺院で上田益作曲の「レクイエム〈あなたを忘れない〉」が世界初演された。この作品は阪神・淡路大震災の追悼のために作曲されたものだが、東日本大震災追悼演奏会の他、今回再地で既に何回か公演されている。それは、作曲者本人のラテン語の作詞で『希望への光を』という題名を掲げる通りである。

当日は日本各地の被災地から参加した合唱団、仙台フィル、プラハ響のオーケストラなど、934人の参加で上演された。5000人近い聴衆を感動に導いた。シュテファン寺院では演奏会プログラムに入れることと、水準が高いことという厳しい条件があり、初めにモーツァルトのミサ曲ハ短調K.427を演奏した。この作品は、ウィーンでの初演の後、ドイツ・ヴェルム・コルプス大で演奏会が開かれた。

特筆すべきはこれらモーツァルト作品と上田レクイエムが違和感なく溶け合っていた点で、現代作品にありがちな指揮者の強引さを感じさせず、音楽の内容で人の心に訴えるものであった。演奏可能にしている要因であろう。ウィーンでの日本の音楽団体の演奏の中では自ずからそのものであった。土曜夜によると、作品がまるでいにしえの曲のように立つ人たちがいたが、唯一人現在立つ人たちなくこの演奏会の成功を協力していた。

取材・文＝野村三郎

音楽の友　2014年12月号掲載

194

河北新報シュテファン記事

きた」などと声を上げながら、にぎやかに調理を楽しんだ。

丼への盛り付けも行い、栄養士の見本を眺めながら見栄え良く身とほらこを並べる職員もいれば、豪快に載せる人も。互いの完成品を見比べて笑い合う姿もあった。

愛媛県砥部町から総務課に派遣中の日野林学さん(39)は「繊細な調理法に感心した。愛媛に帰ったら家族に作って食べさせたい」と話した。

調理体験は、町が昨年2月から定期的に開く

つながる

鎮魂と希望の歌 披露

被災地合唱団 ウィーン演奏会に参加

ウィーンの大聖堂で合唱を披露する「レクイエム・プロジェクト仙台」のメンバーら

東日本大震災などの被災地をつなぐ合唱コンサートを9月に仙台市で開催した「レクイエム・プロジェクト仙台」のメンバーが11日、オーストリア・ウィーンの聖シュテファン大聖堂の演奏会に参加し、鎮魂と希望を託す歌声を響かせた。

大聖堂の招きで演奏会に臨んだのは、仙台市、陸前高田市、南相馬市などからの57人を含む総勢145人の合唱団。プロジェクト代表の作曲家上田益（すすむ）さんによるレクイエム（鎮魂歌）など計14曲を、現地のオーケストラとともに披露した。

被災地の悲しみと苦しみ、復興への光などを表現した歌声に、約800人の聴衆から大きな拍手が送られた。

上田さんは「心に抱えた思いを込め、涙して歌うメンバーもいた。海外からの支援に対する感謝と震災の記憶を伝える取り組みを今後も続けていきたい」と話した。

長崎新聞

2014年(平成26年) 7月8日 火曜日 ローカル (14)

長崎近郊 県南・県央

被爆70年に向けコンサート

来月17日 平和への願い 音楽で共有

作曲家・上田さん主宰の「レクイエム・プロジェクト」

被爆70年に向け鎮魂と平和への願いをオーケストラの演奏と合唱で共有しようと、作曲家の上田益さんが主宰する「レクイエム・プロジェクト」のコンサートが8月17日午後2時から、長崎市茂里町の長崎ブリックホールで開かれる。

プロジェクトは阪神大震災で亡くなった方々への追悼の思いを込めた合唱コンサート「レクイエム・プロジェクト」として1995年に発足。翌年に神戸で5000人が参加するコンサートを開いたのを皮切りに、東日本大震災などで大きな被害を受けた地域でもコンサートを開いている。

長崎での公演は昨年に続き2回目。今回は被爆者を含む市民から約100人で合唱団をつくり、昨年10月から練習を重ねている。組曲「レクイエム」のほか、中国の「プロジェクトで生まれた混声合唱組曲『遥かなる海へ』の抜粋や東日本大震災被災者のメッセージ朗読などがある。被爆70年の来年は8月に浦上天主堂で開くことが決まっている。

7日に県庁で記者会見した上田さんは「被爆70年に向け、プロジェクトを多くの人に知ってほしい」と話した。

入場料は一般前売り千円、当日1500円、中高生500円、小学生以下無料。浜屋プレイガイドなどでチケットを販売中。問い合わせは上田さん（電0950-5181-6692）。

（原口周）

コンサートへの意気込みを語る上田さん（左）＝県庁

世界平和祈念大行進

10月25日に実施

世界平和祈念事業委員会（長崎市長）は7日、同市内で総会を開き、原爆犠牲者慰霊・世界平和祈念市民大行進を10月25日に開くことを決めた。

大行進は原爆犠牲者を追悼し、世界平和を訴える目的で1954年から毎年実施。近隣県などを経由して長崎に集まる。

今年は、被爆70年に向け、「当日は、市内で総会を開き、平和公園を出発後、浦上天主堂前を通るコースと山里小前を通るコースに分かれて、爆心地公園まで歩く。

また、「世界平和祈念ポスター・標語展」の作品を9月1～30日に募集する。

大行進宣言も読み上げる。参加者は例年約3千人で、ほぼ毎年参加している。

は一来年の被爆70年に向けて、力ある取り組みにしたい」とあいさつした。

（山口祥伸）

販売センターへのご用は下記電話に

<長崎市>

長崎中央	(822-8338)
長崎市役所	(824-9657)
長崎本店	(823-4398)
長崎西	(822-0152)
長崎大丸	(826-8111)
長崎駅前	(863-8128)
長崎ケア	(863-8134)
長崎ベル	(845-7034)
長崎ベル	(845-7034)
長崎ベル	(845-7034

＜プロフィール＞

■上田　益（うえだ・すすむ）　作曲家、サウンド・プロデューサー

レクイエム・プロジェクト実行委員会代表（主宰者）

1956 年大阪に生まれる。

京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。

京都音楽協会賞受賞。

1980 年度文化庁芸術家国内研修員に選出され、東京において研鑽を積む。

1982 年、関西での本格的な活動を開始し、以後 1994 年秋に拠点を東京に移すまで、クラシック音楽の演奏家からの委嘱により、数多くの作品を発表。また自らも作品展を2度開催する。

1989 年、福井市制 100 周年記念式典の音楽を担当。

1994 年、広島アジア競技大会「開会式」「閉会式」のパフォーマンス音楽を担当。この年の秋に、創作活動の拠点を東京に移す。

1998 年、長野オリンピック・公式楽曲「WINTER FLAME」を作曲。

1999 年、神戸ルミナリエ会場演出用の音楽を担当。以後毎年ルミナリエのための作曲を現在まで続けているほか、2005 年からは阪神淡路大震災の犠牲者のための「追悼コンサートいのりのとき」を神戸市内で毎年開催。2008 年より 2 年がかりで、震災から 15 年となる 2010 年 1 月 17 日に向けた「レクイエム・プロジェクト」を神戸で実施し、その活動の輪は「大切ないのちへの思い」をテーマに、神戸以外でも東京、沖縄、広島、長崎、兵庫県佐用町、仙台、南相馬、北いわて（久慈市、野田村を中心とする岩手北部沿岸地域）、気仙沼、など、東日本大震災被災地を含む自然災害や戦争で傷ついた地域に広がり、そのほとんどで継続した活動を行っている。

その他 NHK テレビの番組用音楽をはじめ、「1リットルの涙」「黒革の手帖」などのテレビドラマ、アニメ、イベントなど様々なジャンルにおける創作活動を行なっている。

2006 年には世界遺産に指定された高野山のある高野町の委嘱により、時を告げるサウンド・デザインを行なう。また同年、臨床心理学者で当時の文化庁長官であった故河合隼雄氏と「心の音楽処方箋」というクラシック音楽のCDを制作し、ヤマハ・ミュージックコミュニケーションズよりリリース。

また、イラナ（馬頭琴）、鶯と燕（中国琴）など中国の若いアーティーストの育成や、中島啓江（ソプラノ）、幸田さと子（ヴァイオリン）、ジャン・ティン（中国琵琶）など、民族楽器やクラシック系を中心にサウンド・プロデュースおよび楽曲提供を精力的に行う。2008年8月 27 日には二胡のチェン・ミン、ヴァイオリンの金子飛鳥など、著名なミュージシャンが参加した自身6枚目となるセルフプロデュースアルバム「そらとうみのあいだ」をリリース。

このほかメジャーレーベルからリリースされた60タイトル以上の CD 作品を手がけている。

上田益公式ホームページ： http://homepage3.nifty.com/s_ueda/

■レクイエム・プロジェクトとは？

2013 年、南相馬からも参加した神戸での公演

悲しみから、希望へ　！
心を寄せ合うとき、失われた“いのち”への思いは、
重なり合い、歌となり、未来へつながる！！

上田益作曲の「「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」（全音楽譜出版社刊）の演奏などを通して、「大切ないのちへの思い」をテーマに参加者がその思いを重ね合わせ、被災地と被災地、地域と地域、そして人と人とを歌でつなぐ、市民参加型合唱プロジェクトが、「レクイエム・プロジェクト」です。自然災害や戦災で傷ついた地域を中心に、各地に広がっています。

阪神・淡路大震災の被災地である神戸で 2008 年に始まり、2010 年のレクイエム完成初演以後、東京、沖縄、兵庫県佐用町、長崎、広島など自然災害や戦争で傷ついた地域を中心に活動が広がり、東日本大震災の被災地では、宮城県仙台市や福島県南相馬市（2013 年度）、野田村を中心として岩手県北部沿岸地区（北いわて）などでプロジェクトを行い、その殆どで継続した活動を行ってます。また岩手県陸前高田市や大船渡市の方々は仙台でのプロジェクトに現在参加しています。

関連したコンサートは札幌や福島市、プラハ、ウィーンや、このプロジェクトの前身である「追悼コンサート」も含めるとこれまでに約 40 回行われ、これまでレクイエム・プロジェクトに関わって下さった合唱団員、声楽家、指導者、ピアニスト、プロのオーケストラ、そしてコンサート来場者の合計は、のべ約 2 万人（2015 年末現在）。

レクイエム・プロジェクトは、活動の中で
① 各地の惨禍の犠牲となられた方々への追悼を中心に据えながら、
② 今を生きる私たち、生かされている私たちが「いのちの意味」を見つめ直し、
③ 「大切ないのち」に対する思い、そして惨禍の記憶を次の世代に伝え、
④ 未来への希望と平和を願う事
を趣旨としています。
またそのことをふまえ、思いが重なり合った音楽となるよう、合唱練習のなかでは、それぞれのパート内の調和と全体の調和、周りの方々との声の調和を大切にしていただき、趣旨に沿った演奏を目指しています。
さらに大きな特徴は
① プロジェクト実施地域の人たちが、他地域のコンサートにも自由に参加し交流が可能で、
② その中でお互いが共感し合い、心通わせることが出来る
ことです。それは同じ歌を各地のプロジェクト活動の中で歌っているからこそ出来る事であり、ジョイント・コンサートとは違う性格のものです。
またコンサートだけが目的ではなく、特に被災地では傷ついた心の復興やケアに長い時間を必要とするため、活動（練習など）を続けていく時間経過の中で、参加者それぞれが自分自身の思いを歌に込め、悲しみや苦悩を分かち合い、無理をせず少しずつ乗り越えながら、前向きに生きていこうとするプロセスを大切にしています。

当プロジェクトは、いわゆる「第九」を歌うようなイベント型ではなく、活動地域ごとに「何が必要とされているか」「何が大切か」を考え、趣旨に賛同して下さる協力者との出会いを探すところから始まります。同じ方法でプロジェクトを進めている地域は無く、地域ごとにすべてゼロから作り上げていくプロジェクトなのです。そして最初のコンサートを終えた後も、活動をその地域で継続していくことが最大の目標です。
またプロジェクトを行う地域で、可能な限り上田益が新しい合唱曲を作曲していくことも、大きな特徴です。現在出版予定のものを含め、著名な楽譜出版社から 11 冊が刊行されています。

■レクイエム・プロジェクトで生まれた刊行楽譜、および関連CD（2016 年 3 月現在、予定含む）

※作曲はいずれも、上田益

◆レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～＜出版：全音楽譜出版社＞（全 10 曲）

◆スターバト・マーテル～悲しみの聖母～＜出版：全音楽譜出版社＞（全 10 曲）

◆和合亮一：作詩　混声合唱組曲「黙礼」＜出版：カワイ出版＞（全 5 曲）

◆和合亮一：作詩　女声合唱組曲「黙礼」＜出版：カワイ出版＞（全 5 曲）

◆和合亮一：作詩　混声合唱組曲「光と木の影に」＜出版：カワイ出版＞（全 4 曲）2016 年 7 月出版予定

◆伊波希厘：作詩　混声合唱組曲「遥かなる海へ」＜出版：全音楽譜出版社＞（全 4 曲）

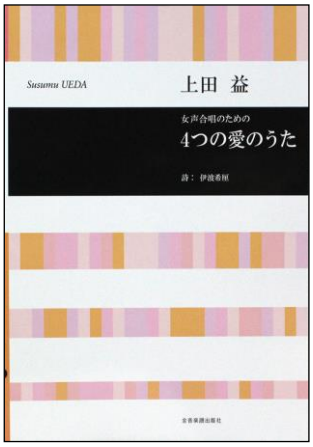
◆伊波希厘：作詩　女声合唱組曲「遥かなる海へ」＜出版：全音楽譜出版社＞（全 4 曲）2016 年 3 月出版

◆伊波希厘：作詩　女声合唱のための「4 つの愛のうた」＜出版：全音楽譜出版社＞（全 4 曲）

◆混声合唱のための「ふるさとのうた いのちのうた（作詩：宇部京子、上田益）」
＜出版：全音楽譜出版社＞（全 4 曲）

◆伊波希厘：作詩　児童（女声）合唱組曲「今この時を」＜出版：全音楽譜出版社＞（全 4 曲）

◆宇部京子：作詩　女声（児童）合唱のための「三陸鉄道（さんてつ）が行く～小さな村の物語～」
＜出版：全音楽譜出版社＞（全 7 曲）2016 年 3 月出版



←

●ﾚｸｲｴﾑ CD

※ﾌﾟﾗﾊ録音

●女声合唱

作品集 CD→

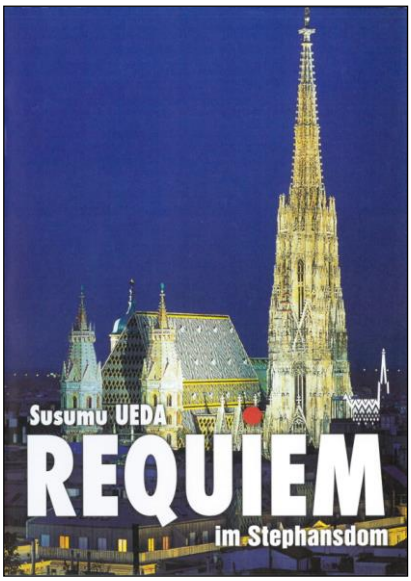
→

●混声合唱

作品集 CD

■2016 年 1 月開催分までのレクイエムプロジェクト関連コンサート

レクイエム・プロジェクト神戸2015
～あれから20年、追悼と希望、そして平和への思いを新たに～
1995.01.17
05:46a.m.
2015年1月16日(金)
開演:夜7時 開場:午後6時20分
2015年1月17日(土)
開演:昼2時 開場:午後1時20分
会 場：神戸新聞 松方ホール


Susumu UEDA
REQUIEM
im Stephansdom

～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト広島2014
2014年9/14(日)
会場：はつかいち文化ホール さくらげあ大ホール

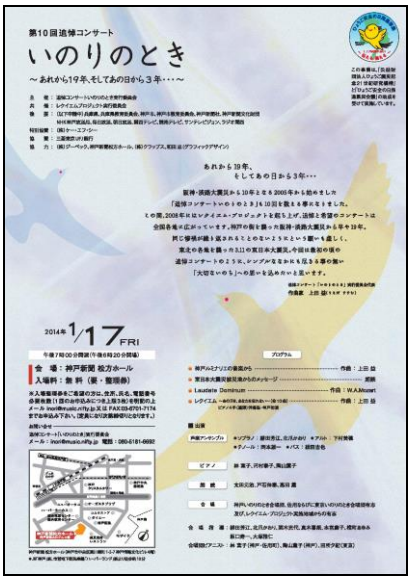
～東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と未来への希望、願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト仙台2014
2014年9/21(日)
会場：日立システムホール仙台・コンサートホール

長崎県合唱連盟 後援
レクイエム・プロジェクト長崎2014
～追悼、そして平和と希望への願いを込めて～
2014年8/17(日)
会場：長崎ブリックホール・大ホール

REQUIEM PROJECT in SAYOCHO
レクイエム・プロジェクト 佐用町2014
2014年8/3(日)
会場：さよう文化情報センター
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

レクイエム・プロジェクト北いわて2014
～東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と、未来への希望、願いを込めて～
2014年7/27(日)
会 場：野田村体育館
入場料：無料
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

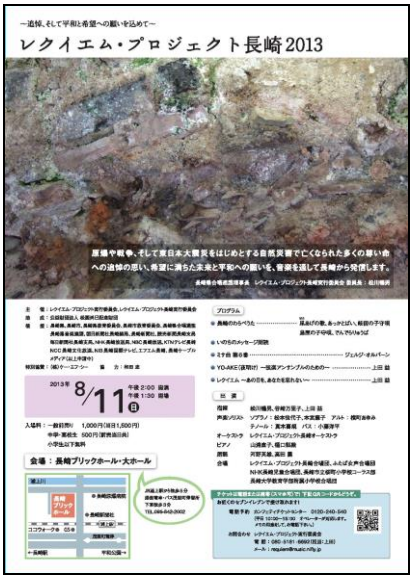
～ 祖母にとどけ鎮魂の歌、天よりとどけ未来と平和の祈り ～
レクイエム・プロジェクト南相馬2014
2014年4/6(日)
会場：南相馬市民文化会館


第10回追悼コンサート
いのりのとき
～あれから19年、そしてあの日から3年・・・～
2014年1/17(FRI)
会 場：神戸新聞 松方ホール
入場料：無料（要・整理券）

～東日本大震災の犠牲となった方々の追悼と未来への希望、願いを込めて～
レクイエム・プロジェクト仙台2013
2013年 11/16(土)
一般前売り 1,500円
会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール

REQUIEM PROJECT
OKINAWA2013
レクイエム・プロジェクト
沖縄2013～歌の翼で クルイ～
2013年 9/1(日)
会場：スタジオ ティートゥウェンティー
入場料：2,000円
ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！
株式会社 ケー・エフ・シー
http://www.kfc-net.co.jp

～追悼、そして平和と希望への願い込めて～
レクイエム・プロジェクト広島2013
2013年 9/22(日)
入場料：一般前売り 1,500円
高校生以下 1,000円
会場：西区民文化センター・ホール


～追悼、そして平和と希望への願い込めて～
レクイエム・プロジェクト長崎2013
2013年 8/11(日)
会場：長崎ブリックホール・大ホール

第9回追悼コンサート
いのりのとき
～ 南相馬の合唱団を迎えて ～
2013年 1/17(THU)
会場：神戸新聞 松方ホール
入場料：無料（要・整理券）

REQUIEM PROJECT
OKINAWA2012
レクイエム・プロジェクト
沖縄2012～いのりを捧げて～
2012年 6/17(日)

東日本大震災
追悼チャリティーコンサート
CHARITY CONCERT
for
mourning and stricken area support in JAPAN
April 1 (Sun), 2012 / 19:30
at Prague Rudolfinum
- Admission free of charge –
入場無料
＜Program＞
●J.S.Bach : Air from the 3. Suite BWV1068
●W.A.Mozart : Symphony No.40 g-moll,KV550
●Susumu UEDA : Requiem ～Never forget the day and you～
＜Conducter＞
Koji KAWAMOTO 川本貢司
(Plzeňská filharmonie Music Director / Chief conductor)
Susumu UEDA 上田 益
＜Orchestra＞
Prague Philharmonia - Pražská komorní filharmonie -
＜Solist＞
Soprano / Kiyoko MOTOMIYA 本宮清子, Kaori KITAZUME 北爪かおり
Alto / Ayumi YOKOMACHI 横町あゆみ
Tenor / Toshikazu SAKAGUCHI 坂口寿一　Bass / Takahiko KUMAGAI 熊谷隆彦
＜Chorus＞
The Kühn Choir of Prague
KOBE INORINOTOKI Choir, TOKYO INORINOTOKI Choir
(神戸ならびに東京いのりのとき合唱団有志)

阪神・淡路大震災の被災地神戸の合唱団を迎えて
レクイエムをあなたと
雲と光のコンサート
2012 3.16 fri
開場 18:00 開演 18:30
入場料 無料

PROGRAM 1 ～追悼～
PROGRAM 2 ～元気になる瞬間～
芸術集団ラクリモ座 × レクイエムプロジェクト
東日本大震災チャリティーコンサート
2012.3.11(日)
会場：札幌時計台ホール

第8回追悼コンサート
いのりのとき
～あの日を、あなたを忘れない～
東日本大震災・被災地への思い
プログラム
2012年
1/17
tue
会場：神戸新聞 総合ホール
入場料：無料（要・整理券）

REQUIEM PROJECT
TOKYO2011
レクイエム・プロジェクト東京 2011
～東日本大震災・被災地への思い、
詩人・和合亮一さんを迎えて～
心を寄せ合う時 "失われたいのち"と "被災地への思い"は
重なり合い、癒えもし、励ましとなって 未来へつながる！
12名のプロ声楽家と気大生、音大生など、
総勢約45名の合唱団が
被災地への思いを紡ぎます。
2011年10/29sat
入場料：3,000円（全自由席・各団体に販売20席）
会場：TOKYO FM ホール
TOKYO FM HALL

REQUIEM PROJECT
in SAYOCHO
レクイエム・プロジェクト in 佐用町
プログラム
奮再災害から2年。
大切な "いのち"、そして "ふるさと" への
思いを歌に込めて！
2012年8/28sun
会場：さよう文化情報センター
入場料：無料

REQUIEM PROJECT
OKINAWA2011
レクイエム・プロジェクト
沖縄2011～いのちを見つめて～
心を寄せ合うとき、失われた"いのち"への思いは、
重なり合い、癒えもし、励ましとなり、
もして未来へつながる！
2011年6/12SUN
会場：パレット市民劇場
入場料：2,000円（前売り・当日共）

神戸、佐用から
被災地支援
ルミナリエ演出音楽の作曲家ら
追悼と励まし、音に託す
19.25日 慈善コンサート開催
神戸新聞 2011.3.18

第7回追悼コンサート
いのりのとき
～あの日を、あなたを忘れない～
2011年
1/17
tue
会場：神戸新聞 総合ホール
入場料：無料（要・整理券）

レクイエム・プロジェクト
TOKYO 2010 ～いのちを見つめて～
神戸初演で2000人の聴衆が戻した、心揺さぶる感動のレクイエム！
REQUIEM PROJECT
TOKYO 2010
阪神・淡路大震災から
15年目となる来年1月17日、
被災地、神戸で新しい
レクイエムが誕生します。
2010年11月7日（日）
午後3時開演（2時30分開場）
会場：浜離宮朝日ホール
入場料：5,000円（全自由席）

第6回追悼コンサート
いのりのとき
～レクイエム・プロジェクト vol.2～
2010年
1/17
sun
会場：神戸文化ホール 大ホール
入場料：無料（要・整理券）

第5回追悼コンサート
いのりのとき
～レクイエム・プロジェクト vol.1～
2009年
1/17
sat
会場：兵庫県立美術館「芸術の館」
ギャラリー棟（3F）ギャラリー
入場料：無料（要・整理券）・定員500名

■公演の様子（一部）